

参加申込書

定員150名 ※定員に達し次第申込を締め切らせて頂きます。

FAXまたは福岡県ベンチャービジネス支援協議会HPより、お申し込み頂けます。FAXによる申込みに際しては、以下に必要事項をご記入の上、本票をお送り下さい。

FAX 092-725-2796

申込期限：7月21日(金)

<http://www.fvm-support.com>

FVM

検索



会場案内

- 地下鉄「中洲川端駅」下車、6番出口。
- 福岡空港から地下鉄で10分。お車で20分
- JR博多駅から地下鉄で5分

貴社名			
住所	〒()		
TEL	()	FAX	()
E-mail			

ご参加者 役職／氏名		総会(15:30～16:30)・ 基調講演・パネルディスカッション (16:30～17:45)	FVM大賞2017授賞式 交流会 (18:00～20:00) ※参加費:4,000円
役職	ふりがな 氏名	出 ・ 欠	出 ・ 欠
役職	ふりがな 氏名	出 ・ 欠	出 ・ 欠
役職	ふりがな 氏名	出 ・ 欠	出 ・ 欠
役職	ふりがな 氏名	出 ・ 欠	出 ・ 欠
役職	ふりがな 氏名	出 ・ 欠	出 ・ 欠

※お客様の個人情報は平成29年度福岡県ベンチャービジネス支援協議会総会等の申込みに使用し、他の目的には一切使用いたしません。
※電話番号・FAX・メールアドレスはご参加社確認の連絡に使用いたします。
※当日の会場の様子を当協議会及び福岡県庁のホームページに掲載する場合があります。



お問合せ先

福岡県ベンチャービジネス支援協議会事務局

FVM

検索



福岡市天神1-11-17 福岡ビル4階 TEL092-725-2729 FAX092-725-2796

E-mail: ven@fvm-support.com <http://www.fvm-support.com>



平成29年度

福岡県ベンチャービジネス

支援協議会総会・

福岡ベンチャークラブ総会・

基調講演・パネルディスカッション・

FVM大賞授与式・交流会

日時 平成29年7月31日(月)

15:30～20:00

会場 ホテルオークラ福岡

福岡市博多区下川端町3-2

入場無料 [定員 150 名様]

※当日はどなたでも参加可能です。

※FVM大賞2017授与式及び交流会に参加する場合は参加費4,000円が必要です。

プログラム

15:30～16:30	福岡県ベンチャービジネス支援協議会総会・ 福岡ベンチャークラブ総会
16:30～17:45	基調講演・パネルディスカッション
18:00～18:30	FVM大賞2017授与式
18:30～20:00	交流会

基調講演

株式会社 グルーヴノーツ

代表取締役会長

佐々木 久美子氏

プロフィール

福岡県生まれ。小5よりプログラミングに出会い、プログラマー、システムエンジニア、プロジェクトマネージャー、役員を経て、2011年7月会社設立、代表取締役社長を経て、株式会社グルーヴノーツ代表取締役会長に就任。AI(機械学習)をノンプログラミングで利用できるMAGELLAN BLOCKSの開発や、自身の仕事や子育ての経験をもとに、2016年4月に天神にて新規事業として、IT学童保育「TECH PARK」の運用開始。2015年Google Global Partner of the Year Award/ミネート、2016年キッズデザイン賞、日経ニューオフィス賞受賞。



パネルディスカッション

テーマ「常識にとらわれない今後の働き方」

[パネリスト]

[モデレーター]



株式会社 グルーヴノーツ
代表取締役会長
佐々木 久美子氏



九州大学大学院
薬学研究院 教授
米満 吉和氏



嘉徳無線ホールディングス
株式会社
代表取締役社長
柳瀬 隆志氏



QBキャピタル合同会社
代表社員
坂本 剛氏

主催 福岡県ベンチャービジネス支援協議会

福岡ベンチャークラブ

Fukuoka
Venture
Market
Award
2017

ここから、はばたく。

福岡県ベンチャービジネス支援協議会では、優れたビジネスプランと経営手腕により、顕著な事業実績をあげた企業や今後の成長が期待できる企業に対し、受賞企業のビジネス展開をさらに支援することを目的に、2008年に「FVM大賞」を創設し、表彰を行っております。FVM大賞2017では、4社が受賞しました。いずれも独自の新製品や新サービスを展開しており、今後更なる飛躍が期待されます。



〈大賞〉
優れたビジネスプランと経営手腕により、顕著な事業実績をあげ、その成果が登壇企業の範となるもの



〈特別賞〉
過去1年間にFVMでプレゼンテーションをした企業のうち、優れたビジネスプランを有し、今後の成長が期待できるもの



高い技術力、自由な発想での海外向けサービス展開



株式会社 Fusic
代表取締役社長 納富 貞嘉 氏



Fusic Co., Ltd.

【プロフィール】

1978年福岡市生まれ。九州大学工学部・同大学院システム情報科学府修了。大学院在学中に友人(取締役副社長 浜崎陽一郎氏)と起業し、2003年「株式会社Fusic」を設立。福岡・東京を中心にIoT関連のWebシステム、スマートフォン・タ

ブレットのアプリケーション開発などを数多く手がける。早い段階よりクラウドに着目し、Amazon Web Services(AWS)において、九州初のAWSアドバンストコンサルティングパートナー認定を受けている。

福岡・九州において唯一無二の多様な技術を提供するIT企業になるとともに、現在展開中の360度評価支援システム、IoTツール、EC(インターネット通販)ツールにおいては福岡から海外市場を視野に入れたサービス展開を目指しています。我々の多様な技術で1社でも多くの福岡・九州の企業がITを活用した経営を実現し、飛躍することを支援すると共に、自身もより新しい技術を取り入れ成長していきます。

360度評価支援システム

売れるネット広告 つくる

mockmock

マチイロ

sigfy



使いやすいワンストップIoTプラットフォームの実現



株式会社 スカイディスク
代表取締役社長 橋本 司 氏



SKYDISC

【プロフィール】

1975年生まれ、北九州出身。長崎大学卒業後、自動車メーカーで自動車部品の研究開発を行い、27歳でシステム業界へ。2010年九州大学博士課程に

入学し、人工知能の研究に従事。10数年のシステム開発の実績と大学での研究成果を元に、2013年「株式会社スカイディスク」を設立。

IoTソリューションに必要な「センサデバイス」「通信システム」「データ蓄積クラウド」「AI分析・学習モデル」をワンストップで提供。デバイスからサービスまで、一貫して開発することで開発コストを削減し、多様性のあるIoTソリューション導入を可能とします。



福岡県ベンチャービジネス支援協議会では

中小・ベンチャー企業とビジネスパートナーをつなぐマッチングの場であるビジネスプラン発表・商談会(ベンチャーマーケット)を毎月開催しています。新製品の販路拡大を目指す企業や事業拡大に合わせて資金調達したい企業など、各企業のニーズに応じたプレゼンテーションが可能です。ベンチャーマーケットをさらなる飛躍への第一歩にしてみませんか？

【プレゼンテーション登壇の3つの“安心”】

①公設の安心感

②公平でオープンな登壇資格

③充実したサポート体制

福岡県が設置し、福岡県ベンチャービジネス支援協議会(FVB協議会)が運営。公設だからこそこの高い信用力と幅広いネットワークで各登壇企業様のビジネスチャンスを拡げます！

登壇者の創業年や業種はもちろん、本社所在地も問いません。新事業に挑戦する中小・ベンチャー企業(法人・個人問わず)なら、どなたでも登壇可能です！※FVB協議会の審査があります。

FVB協議会ベンチャーサポートセンターがビジネスプラン作成から展開まで、一貫して支援いたします。(ビジネスプランブラッシュアップ&プレゼンテーションサポート&ビジネスコーディネート)

【事業ステージごとの活用例】

アーリーステージ ビジネスブラッシュアップ、チームアップ、支援者獲得など

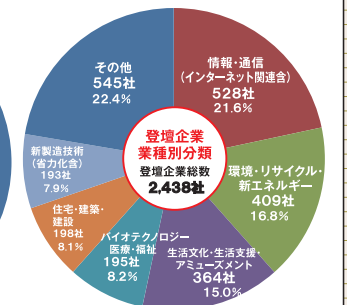
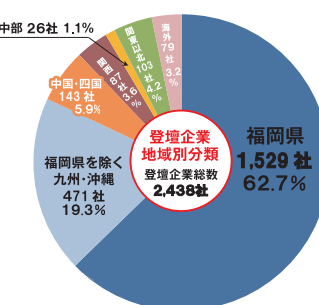
ミドルステージ ビジネスマッチング(資金調達、販路拡大、業務提携等)

レイトーステージ 企業や事業のPRなど

フクオカベンチャーマーケット(FVM)の実績(平成11年11月～平成29年5月)

FVMには、様々な地域から参加いただいています。

■開催回数 210回
■登壇企業数 2,438社
■商談開始数 1,785社
■商談成約数 469社



ビジネスを動画で動かす「人工知能 Smartavatar®」



有限会社 BOND
代表取締役 古川 ひろ美 氏



【プロフィール】

九州産業大学芸術学部卒業後、父親が1950年に創業した古川印刷に入社。2006年に社名を有限会社BONDに改名し代表取締役に就任。今後ネット上に利用者が集まることで動画によるコミュニケーションが一般的になると予想し先行投

資したことで、独自AI(人工知能)を組み込んだ迅速簡単な映像(番組)作成・双方向対話など「人の心を掴む伝達ツール」のソフトウェアメーカーとして生まれ変わる。[受賞歴]2013年MIT-VFJ優秀賞・2014年DBJファイナリスト表彰など。

クラウド型・ダイレクト描画でも、簡単迅速に映像(番組)を生成・配信・双方向通話を実現できます。各業界とアライアンスを組み動画コンテンツの需要・情報周知・意思疎通の問題を解決します。言語や画像から感情感性豊かな映像(番組)動画が迅速にできる「画期性」、コミュニケーションに障害がある人体にハンディがある人も皆平等に活躍できる「社会性」、簡単にネット上に動画を発信し合え用途が無限大になる「拡張性」が高く評価されています。(特許取得済)

